

# 若手アカデミー 活動報告

上田 泰己

日本学術会議 若手アカデミー代表

東京大学医学系研究科/理化学研究所生命システム研究センター

日本学術会議 第170回総会 2015年10月2日(金) 13:30-13:45

## 若手アカデミー発足に至る経緯

背景：学術にとっての**新たな課題**・学術を取り巻く**環境の変化**

Science, vol. 328, 2010

オリンピックで活躍する若いアスリート達  
一方で、若手科学者はどうか？

T. Brückner of the  
Department of International  
Economics at the German  
Institute for Economic  
Research (DIW Berlin), profes-  
sor of Development Economics  
at Humboldt University of  
Berlin, and Chair of the Board  
of the Junge Akademie.  
E-mail: t.brueckner@diw.de

### Empowering Young Scientists

THE VANCOUVER OLYMPICS REVEAL STARK DIFFERENCES BETWEEN THE WORLDS OF SPORTS and science. In both, young people from around the world try to surpass all previous accomplish-  
ments in pursuit of world records or scientific discoveries. Selected entirely on merit, athletes receive honor just for participating in the games, sparing the next generation of young people in each nation to excel. And as elite athletes age, they often support their sport in other ways, serving as advocates, mentors, or coaches. In contrast, in too many nations, the sole club and recreation arena in science involve considerable effort other than merit.

**naturenews**

Published online 1 March 2011 | Nature | doi:10.1038/news.2011.126

News: Q&A

### Homecoming queen

Global Young Academy co-chair says the organization can help reintegrate western-educated scientists.

Nicola Jones

The Global Young Academy — a group of exceptional young scientists from more than 40 countries — celebrates its first anniversary at a meeting in Berlin on 20–22 March. *Nature* talks to one of its two founding co-chairs, 32-year-old chemical engineer Nitsara Karoonuthaisiri from Thailand, about empowering youth in the developing world and helping them to reintegrate into their own cultures after training



グローバルヤングアカデミー  
*Nature news*, 1 March 2011

提言

若手アカデミー設置について



平成23年(2011年)9月28日

日本学術会議

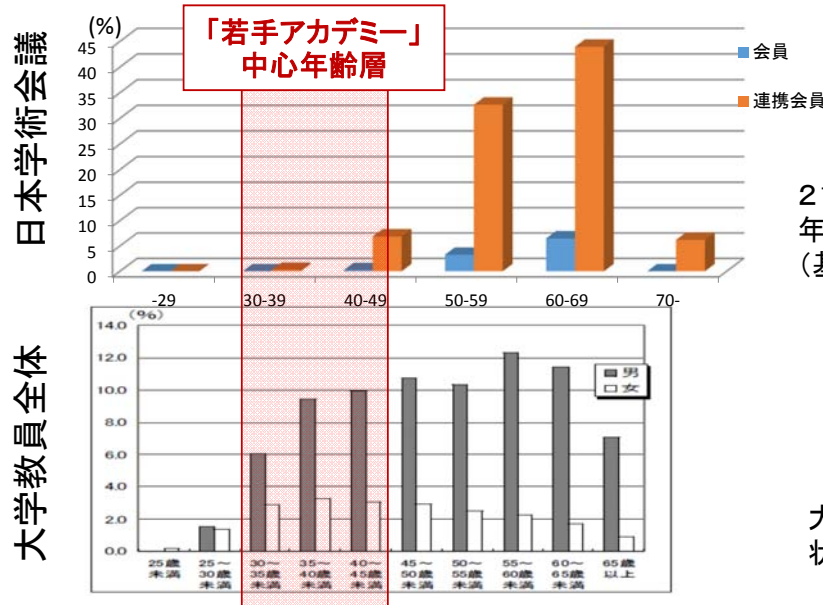
若手アカデミー委員会 若手アカデミー活動検討分科会

提言「若手アカデミー設置について」  
若手アカデミー活動検討分科会

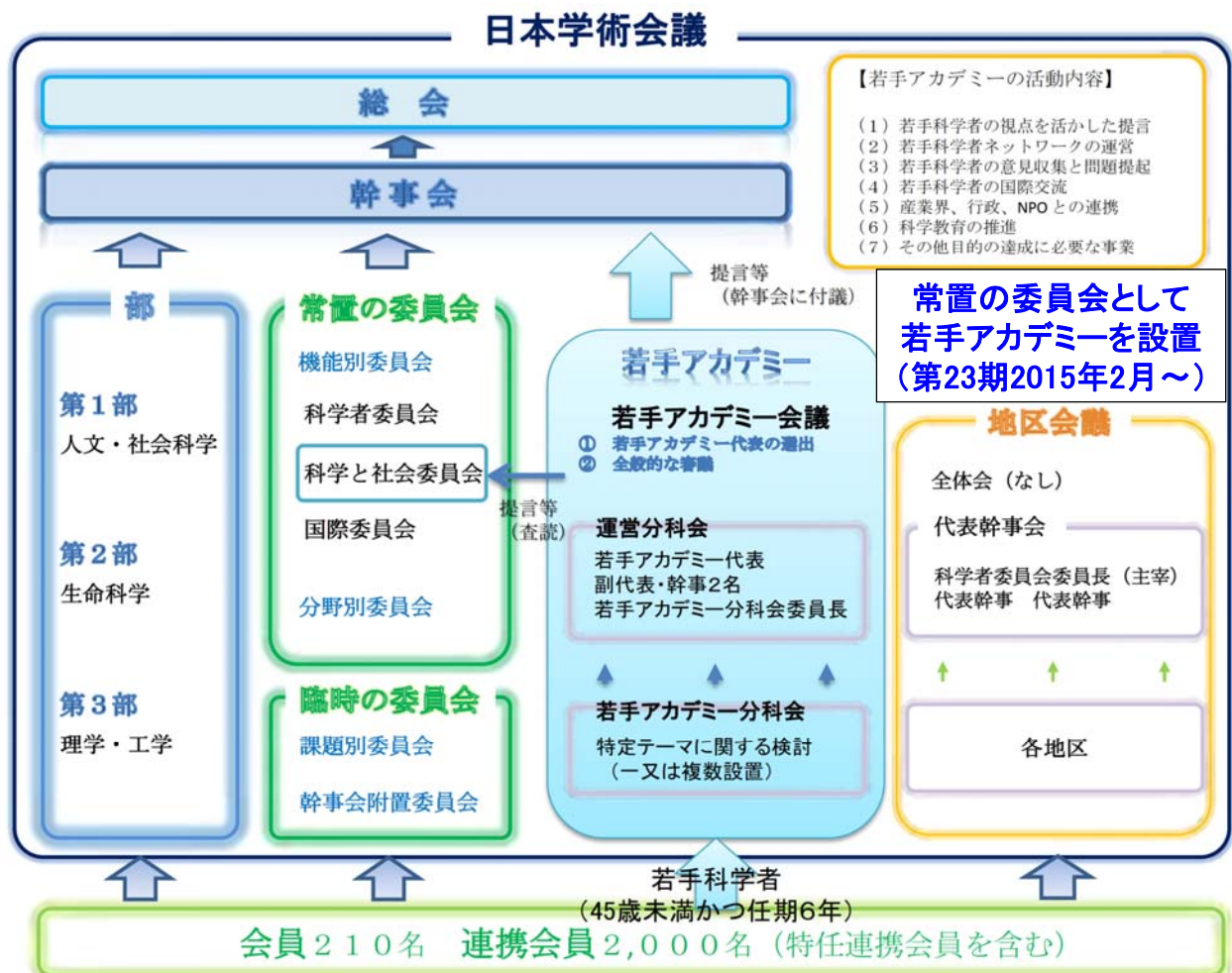
若手研究者問題の当事者である  
若手が政策提言できる機会が必要  
→若手アカデミー委員会発足  
(第22期 2011年11月)

# 若手アカデミーの中心年齢層

30代～40代前半を中心とする科学者によるアカデミー活動



→若手科学者の意見集約による日本学術会議の代表性の向上



## 若手アカデミー(第23期)発足(平成27年2月24日)



大西会長ら幹部と記念撮影する若手アカデミーメンバー



代表：  
上田泰己



副代表：  
狩野光伸



幹事：  
隠岐さや香



幹事：  
住井英二郎

| 氏名     | 所属・職名                                    |
|--------|------------------------------------------|
| 上田 泰己  | 東京大学大学院医学系研究科機能生物学専攻教授                   |
| 狩野 光伸  | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授                       |
| 隠岐 さや香 | 広島大学大学院総合科学研究科准教授                        |
| 住井 英二郎 | 東北大学大学院情報科学研究科教授                         |
| 荒木 稚子  | 埼玉大学大学院理工学研究科准教授                         |
| 有路 昌彦  | 近畿大学農学部生産学科准教授                           |
| 有田 正規  | 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授          |
| 生田 さと  | 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所理学部研究系准教授、宇宙科学広報・普及主幹補佐 |
| 石田 美紀  | 新潟大学人文学部准教授                              |
| 宇南山 卓  | 財務省財務総合政策研究所総括主任研究官                      |
| 大木 研一  | 九州大学大学院医学研究科教授                           |
| 北村 友人  | 東京大学大学院教育学研究科准教授                         |
| 小山 良太  | 福島大学経済経営学類教授                             |
| 塩尻 かおり | 京都大学白眉センター特定助教                           |
| 瀬山 倫子  | 日本電信電話株式会社NTTデバイス/オペレーションセンター主幹研究員       |
| 高山 弘太郎 | 愛媛大学農学部准教授                               |
| 所 千晴   | 早稲田大学理工学術院准教授                            |
| 所 裕子   | 筑波大学大学院数理物質科学研究科准教授                      |
| 名取 良太  | 関西大学総合情報学部教授                             |
| 林 秀弥   | 名古屋大学大学院法学研究科教授                          |
| 原 隆浩   | 大阪大学大学院情報科学研究科准教授                        |
| 平田 聡   | 京都大学野生動物研究センター教授                         |
| 福永 真弓  | 大阪府立大学現代システム科学域環境システム学類准教授               |
| 山田 育穂  | 中央大学理工学部人間総合理工学学科教授                      |
| 吉田 丈人  | 東京大学大学院総合文化研究科准教授                        |
| 井藤 彰   | 九州大学大学院工学研究科准教授                          |
| 川畑 秀明  | 慶應義塾大学文学部准教授                             |
| 竹村 仁美  | 愛知県立大学外国語学部准教授                           |
| 中村 征樹  | 大阪大学全学教育推進機構准教授                          |

計29名で発足

## 第二回若手アカデミー会議(平成27年7月25日・26日)

合宿形式(2日間)で開催

| ポスターNo. | 氏名     | タイトル                                                                                                                |
|---------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1       | 荒木 稚子  | 安全なモノづくりのために、壊す。                                                                                                    |
| 2       | 石田 美紀  | 映像文化論                                                                                                               |
| 3       | 井藤 彰   | ナノテクノロジーが創る新しい医療                                                                                                    |
| 4       | 上田 泰己  | 全身透明化により「時間」の謎を解明する                                                                                                 |
| 5       | 宇南山 卓  | 家計行動の理論と実証                                                                                                          |
| 6       | 北村 友人  | すべての人に、公正な教育機会を。                                                                                                    |
| 7       | 塩尻 かおり | 複雑な中にある秩序                                                                                                           |
| 8       | 住井英二郎  | 研究(分野)紹介://環境双機軸、プログラミング言語理論、理論計算機科学、計算機科学                                                                          |
| 9       | 瀬山 倫子  | ヘルスタグやスポンジ、劣化質、高層やモータのロボトなど、人の健康に生活に繋がる課題を解決するライフアシスト・サービスを実現するため、生体関連情報を収集するウェアラブルセンサやP.O.C.センサに繋がる基盤技術を研究開発しています。 |
| 10      | 竹村 仁美  | 国際刑事法を学ぶ                                                                                                            |
| 11      | 所 千晴   | 資源・環境問題を解決する、古くて新しい「選鉱」                                                                                             |
| 12      | 所 裕子   | 相変態を利用したスイッチング材料                                                                                                    |
| 13      | 原 隆浩   | 未来を拓く「データ管理技術」                                                                                                      |
| 14      | 平田 聡   | チンパンジーとボノボの心を探る                                                                                                     |
| 15      | 福永 真弓  | 現場から環境倫理を考える                                                                                                        |
| 16      | 吉田 丈人  | 生き物の多様性・複雑さ・恵み                                                                                                      |

メンバーによるポスター発表(1日目)



原山優子CSTI常勤議員との対話(2日目)



分科会活動についての議論(2日目)

# 若手アカデミー分科会

## 【若手アカデミーの活動内容】

- (1) 若手科学者の視点を活かした提言
- (2) 若手科学者ネットワークの運営
- (3) 若手科学者の意見収集と問題提起
- (4) 若手科学者の国際交流
- (5) 産業界、行政、NPO との連携
- (6) 科学教育の推進
- (7) その他目的の達成に必要な事業**広報**

①若手による学術の未来検討分科会  
(世話人：福永真弓、瀬山倫子)

②若手科学者ネットワーク分科会  
(世話人：宇南山卓、井藤彰)

③イノベーションに向けた社会連携分科会  
(世話人：吉田丈人、高山弘太郎)

④国際分科会  
(世話人：北村友人、竹村仁美)

## 若手による学術の未来検討分科会

世話人

福永真弓



瀬山倫子



### 【若手アカデミーの活動内容】

- (1) 若手科学者の視点を活かした提言
- (2) 若手科学者ネットワークの運営
- (3) 若手科学者の意見収集と問題提起
- (4) 若手科学者の国際交流
- (5) 産業界、行政、NPO との連携
- (6) 科学教育の推進
- (7) その他目的の達成に必要な事業

若手アカデミーの前身である若手アカデミー委員会の下に時限設置(平成24年3月16日～平成26年9月30日)された「学術の未来検討分科会」で抽出された問題意識、及びその下で行われた調査結果と分析を引き継ぎ、以下のような課題に関して、若手研究者の視点からの学術に対する期待とその課題を解決する方策を検討する。

- ①学術への期待と課題(若手から／若手へ)
- ②研究者の理想像、ライフ・ワーク・バランス
- ③学術における人文社会科学
- ④若手から見た他分野との「学術融合」の可能性と課題

発足メンバー(8名:平成27年9月18日現在)

| 氏 名   | 所 属 ・ 職 名                                         |
|-------|---------------------------------------------------|
| 生田ちさと | 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所学際科学研究系准教授、宇宙科学公報・普及主幹補佐 |
| 石田 美紀 | 新潟大学人文学部准教授                                       |
| 隠岐さや香 | 広島大学大学院総合科学研究科准教授                                 |
| 瀬山 倫子 | 日本電信電話株式会社先端集積デバイス研究所 主幹研究員                       |
| 所 裕子  | 筑波大学大学院数理物質科学研究科准教授                               |
| 平田 聡  | 京都大学野生動物研究センター教授                                  |
| 福永 真弓 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授                              |
| 中村 征樹 | 大阪大学全学教育推進機構准教授                                   |

## 若手科学者ネットワーク分科会

世話人

宇南山卓



井藤彰



### 【若手アカデミーの活動内容】

- (1) 若手科学者の視点を活かした提言
- (2) 若手科学者ネットワークの運営
- (3) 若手科学者の意見収集と問題提起
- (4) 若手科学者の国際交流
- (5) 産業界、行政、NPO との連携
- (6) 科学教育の推進
- (7) その他目的の達成に必要な事業

広く内外の若手科学者との連携を図り、国内の若手科学者のネットワークを形成・維持することを通じて、若手科学者の抱えている意見の収集や若手科学者への問題の提起を行う。このような観点から、各種学協会との連絡窓口とし、相互の意見交換に関する以下の事項等を審議する。

- ① 若手科学者ネットワークの運営に関する事項
- ② 若手科学者の意見収集と問題提起に関する事項

発足メンバー(9名:平成27年9月18日現在)

| 氏 名   | 所 属 ・ 職 名                                         |
|-------|---------------------------------------------------|
| 荒木 稚子 | 埼玉大学大学院理工学研究科准教授                                  |
| 生田ちさと | 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所学際科学研究系准教授、宇宙科学広報・普及主幹補佐 |
| 宇南山 卓 | 一橋大学経済研究所准教授                                      |
| 住井英二郎 | 東北大学大学院情報科学研究科教授                                  |
| 高山弘太郎 | 愛媛大学農学部准教授                                        |
| 竹村 仁美 | 愛知県立大学外国語学部准教授                                    |
| 所 千晴  | 早稲田大学理工学術院准教授                                     |
| 吉田 丈人 | 東京大学大学院総合文化研究科准教授                                 |
| 井藤 彰  | 九州大学大学院工学研究院准教授                                   |

## イノベーションに向けた社会連携分科会

世話人

吉田丈人



高山弘太郎



### 【若手アカデミーの活動内容】

- (1) 若手科学者の視点を活かした提言
- (2) 若手科学者ネットワークの運営
- (3) 若手科学者の意見収集と問題提起
- (4) 若手科学者の国際交流
- (5) 産業界、行政、NPO との連携
- (6) 科学教育の推進
- (7) その他目的の達成に必要な事業 **広報**

科学技術イノベーションをめぐる大変革時代が到来するなか、学術が目指すべき姿は、社会との連携を深めながら、広い視野に立って検討することが求められる。そこで、多様な学術分野の若手科学者から構成される若手アカデミーの下に分科会を設置し、ウェブサイトや出版を通じた社会への**広報活動**と、地方を含めた我が国全体の**学術・行政・産業・NPO などの関係者との交流活動**を通じて、**若手科学者による社会連携を推進**するとともに、**社会連携のあり方や科学技術イノベーションの社会実装など、学術と社会の関係について検討**を行う。

発足メンバー(8名:平成27年9月18日現在)

| 氏 名   | 所 属 ・ 職 名                       |
|-------|---------------------------------|
| 有田 正規 | 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授 |
| 塩尻かおり | 龍谷大学農学部講師                       |
| 高山弘太郎 | 愛媛大学農学部准教授                      |
| 所 千晴  | 早稲田大学理工学術院准教授                   |
| 名取 良太 | 関西大学総合情報学部教授                    |
| 林 秀弥  | 名古屋大学大学院法学研究科教授                 |
| 吉田 丈人 | 東京大学大学院総合文化研究科准教授               |
| 川畑 秀明 | 慶應義塾大学文学部准教授                    |

# 国際分科会

世話人

北村友人



竹村仁美



## 【若手アカデミーの活動内容】

- (1) 若手科学者の視点を活かした提言
- (2) 若手科学者ネットワークの運営
- (3) 若手科学者の意見収集と問題提起
- (4) 若手科学者の国際交流
- (5) 産業界、行政、NPO との連携
- (6) 科学教育の推進
- (7) その他目的の達成に必要な事業

地球社会において日本の学術はどのような役割を果たすべきか。また他国における学術の状況と比較してわが国の学術をどのように進めていくべきか。これらを、今後20年以上にわたってわが国の学術を牽引するべき若手科学者の立場から考え、また世界各国に次々設立されている若手科学者を主たる構成員とする学術組織である若手アカデミーとの連携によって実践していくために、本分科会を設置する。本分科会では、既に関係の深い国際的若手学術組織であるグローバルヤングアカデミーへの参画を通じ、他国の若手アカデミーとの交流を深め、また我が国との交流連携を深めるための催しを考案開催する。分科会は世界規模の問題を解決するために行動しこの目的のため他国のアカデミーと共同して国際的発信を行う。

発足メンバー(5名:平成27年9月18日現在)

| 氏 名   | 所 属 ・ 職 名          |
|-------|--------------------|
| 荒木 稚子 | 埼玉大学大学院理工学研究科准教授   |
| 北村 友人 | 東京大学大学院教育学研究科准教授   |
| 原 隆浩  | 大阪大学大学院情報科学研究科准教授  |
| 狩野 光伸 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授 |
| 竹村 仁美 | 愛知県立大学外国語学部准教授     |

## その他の活動

| 名称 若手アカデミー会議 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |     |       |    |             |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|----|-------------|
| 代表           | 上田 泰己                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 副代表 | 狩野 光伸 | 幹事 | 隠岐さや香、住井英二郎 |
| 主な活動         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年2月24日:第1回 若手アカデミー会議開催</li> <li>・平成27年5月20日:日本学術会議ニュースメールを通じ、Global Young Academyによる研究者の社会貢献の評価に関するアンケートへの協力願いを送付</li> <li>・平成27年5月25日:吉田会員が<u>文部科学省第8期研究費部会(第2回)</u>に出席</li> <li>・平成27年5月25-29日:狩野副代表、住井幹事が<u>Global Young Academy総会(カナダ)</u>に出席</li> <li>・平成27年6月26日:井藤会員が、<u>日本経済団体連合会との意見交換会</u>に出席</li> <li>・平成27年7月25-26日:第2回 若手アカデミー会議を開催し、                         <ol style="list-style-type: none"> <li>①若手による学術の未来検討分科会(世話人:福永真弓、瀬山倫子)</li> <li>②若手科学者ネットワーク分科会(世話人:宇南山卓、井藤彰)</li> <li>③イノベーションに向けた社会連携分科会(世話人:吉田丈人、高山弘太郎)</li> <li>④国際分科会(世話人:北村友人、竹村仁美)の設置を提案</li> </ol> </li> <li>・平成27年8月28日:第217回幹事会において、4つの若手アカデミー分科会の設置承認</li> <li>・平成27年9月4日:「<u>日独シンポジウム ダイバーシティが創る卓越性～学術における女性・若手研究者の進出～</u>」に狩野副代表および若手アカデミー会員推薦の若手研究者4名が出席し、ドイツの若手研究者との間で意見交換</li> </ul> |     |       |    |             |
| 今後の課題等       | ・各分科会の活動を潤滑に開始する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |       |    |             |
| 開催状況         | 平成27年2月24日、7月25～26日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |     |       |    |             |

# 今後の課題



| 名称 若手アカデミー 運営分科会 |                                                                          |      |       |    |             |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------|------|-------|----|-------------|
| 委員長              | 上田 泰己                                                                    | 副委員長 | 狩野 光伸 | 幹事 | 隠岐さや香、住井英二郎 |
| 主な活動             | ・平成27年7月26日：4つの若手アカデミー分科会の新規設置について承認<br>・平成27年9月2日：今後の若手アカデミーの運営方針について審議 |      |       |    |             |
| 今後の課題等           | ・若手アカデミーが、分野の枠を超えた若手科学者の連携と社会貢献の場として <b>持続的に機能するための土台作り</b> を進める。        |      |       |    |             |
| 開催状況             | 平成27年7月26日、9月2日                                                          |      |       |    |             |